

第3学年 国語科学習指導案

平成30年9月12日(水) 6校時

3年1組 児童31名(男15名 女16名)

授業者 海地堪太

- 1 単元名 お気に入りの本で紹介カードを作ろう
「サーカスのライオン」(東京書籍 3下)

2 単元について

(1) 児童観

本学級の児童は4月の「すいせんのラッパ」の学習で、音読劇を行った。声や表情などを工夫するために、場面の様子に着目して登場人物の行動や会話を具体的に想像することができた。7月の「ゆうすげ村の小さな旅館」の学習では、場面ごとに出来事を確かめ、大事な言葉やしかけを見つけて紹介する活動を行った。出来事とそのときの人物の気持ちをとらえることはできていたが、人物の行動や会話に気を付けて読み取ることは十分ではなかった。

4月実施のCRTでは、大事な言葉を見つけたり登場人物の気持ちを読み取ったりする問題に無答が多く見られ、誤答も多かった。また、読み取ったことや自分の考えたことを発表することが苦手と考えている児童もいる。

(2) 単元観

本教材「サーカスのライオン」は、長いサーカス小屋での生活で退屈な気持ちを抱え、生きる活力を失いかけていたライオンのじんざが、男の子とのふれあいを通して、体と心に力を取り戻していく話である。中心人物が明確であり、その気持ちの変化がとらえやすい。また、「登場人物に着目した読み」や「会話文に着目した読み」、「行動や様子に着目した読み」を行うことで、気持ちの変化をより深くとらえることができる。

本単元では、会話や行動描写を通して中心人物の気持ちを想像したり、場面を比較することで中心人物の気持ちの変化を読み取ったりできる力を付けたい。そこで、お気に入りの本の紹介カードを作り図書館に展示するというゴールを設定し、図書館にある「中心人物の気持ちの変化が分かりやすい」本をたくさん読み、その中からお気に入りの1冊を選んで全校で紹介する活動に取り組むことで、その力を付けたいと考えた。

(3) 指導観

単元のゴールは、児童がお気に入りの本の紹介カードを書くことである。本時にあたる第1次1時では、2年生で学習した「ニャーゴ」を使って教師が自作した紹介カードを提示し、中心人物とは何かをおさえる。その後、読みたいという意欲を持たせてからブックトラックを教室に入れる。これらの本を中心人物に着目して読み、お気に入りの1冊を見つけてカードを作ることに意欲をもたせたい。

第2次では、物語の登場人物をつかみ、中心人物を見つけてから、その中心人物を基に各場面の出来事を確認する。そして「会話文」と「行動や様子」に着目し、叙述を基に気持ちを想像したり前の場面と比較したりして読み深めていく。その時に、会話文だけではよく分からなかった中心人物の気持ちだが、行動や様子に着目すると、より分かるということに気付かせたい。その後、中心人物であるじんざへの思いを伝える感想を書き、「サーカスのライオン」の紹介カードを作る。また、毎時間「サ

「サーカスのライオン」で学習したことを、自分の選んだお気に入りの本で確認する時間を設けることで、紹介カードを書くための材料を集めていく。

第3次では、自分の選んだ本で紹介カード作りを行う。ノートやワークシートを参考に、中心人物の気持ちの変化やその根拠となる叙述、中心人物に伝えたいことをまとめさせる。そして、できた紹介カードを読み合い紹介することで、さらに読書への意欲を高めていきたい。

このように、教科書教材「サーカスのライオン」の読みと、お気に入りの本を紹介カードにするという表現とを密接に関連付けて学習することが、「読み」を鍛えることにつながると考え、指導をすることとする。

3 単元の目標

- 中心人物の気持ちの変化とその根拠となる叙述を考えながら、物語を読むことができる。
- 中心人物の気持ちの変化をとらえ、紹介カードにまとめることができる。

～はりまや橋小学校「学校図書館の活動を通してつきたい力系統表」より～
【情報の表現・伝達】 相手や目的に対して、適切な方法を選んで表現・伝達する。
 (文章, スピーチ, ポスター, リーフレット, パンフレット, 新聞, 紙芝居, ペープサート, 劇等)

4 重点指導事項

【C(1)ウ】 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて叙述を基に想像して読むこと。

5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○中心人物の性格や気持ちの変化などを、叙述を基に想像して読み、お気に入りの本の紹介カードを作ろうとしている。	○場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読んでいる。【C(1)ウ】	○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。 【伝国(1)イ (ア)】

6 学習指導計画 (全 11 時間)

次	時	学習内容	評価			
			関	読	言	評価規準【評価方法】
一	1 (本時)	○学習の見通しをもつ。 ・お気に入りの本で「紹介カード」を作るというゴールを確認し、どのようなカードを作るのか見通しをもつ。 ・お気に入りの本を見つける。	○			関紹介カードを作ることに興味をもち、中心人物が誰なのかを考えながら図書館の本を読もうとしている。 【発言・行動観察・ノート】

二	2	<p>○「サーカスのライオン」を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物をつかむ。 ・中心人物を見つける。 ・自分の選んだ本で中心人物を見つける。 		○	<p>読登場人物の中で、気持ちが大きく変わったのは誰か考えることで、中心人物を見つけている。</p> <p>【発言・行動観察・ノート】</p>
	3	<p>○出来事を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時や場所を表す言葉、挿絵を手がかりに、中心人物がどうしたのか、各場面の出来事をつかむ。 		○	<p>読時や場所を表す言葉や挿絵を手がかりに、話の大体を中心人物を基に理解している。</p> <p>【発言・行動観察・ノート】</p>
	4	<p>○会話文に着目して読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・じんざや男の子、おじさんのセリフに着目して、じんざの気持ちの変化を読み取る。 ・自分の選んだお気に入りの本を中心人物の会話文に着目して読む。 		○	<p>読会話文に着目することで、中心人物の気持ちの変化をつかむことができるということに気付いている。【発言・行動観察・ノート】</p>
	5・6	<p>○行動や様子に着目して読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・じんざの行動や様子に着目して、気持ちの変化を読み取る。 ・自分の選んだお気に入りの本を中心人物の行動や様子に着目して読む。 		○	<p>読行動や様子に着目することで、中心人物の気持ちの変化を、小さな変化までつかむことができるということに気付いている。</p> <p>【発言・行動観察・ノート】</p>
	7	<p>○じんざへ伝えたいことを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変化したじんざに伝えたいことを書く。 ・自分の選んだお気に入りの本で、変化した中心人物に伝えたいことを書く。 		○	<p>読気持ちが変わった後の中心人物に伝えたいことを書いている。</p> <p>【発言・行動観察・ノート】</p>
	8	<p>○「サーカスのライオン」の紹介カードを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までに学習したことを生かして、紹介カードを作る。 		○	<p>読二次の学習を基に、中心人物の気持ちの変化とその根拠となる叙述、中心人物に伝えたいこと、絵を入れて紹介カードにまとめている。</p> <p>【発言・行動観察・紹介カード】</p>

三	9	○自分の選んだお気に入りの本で紹介カードを作る。 ・中心人物の気持ちの変化を読み取り，紹介カードに書く。		○	○	読自分の選んだお気に入りの本で，中心人物の気持ちの変化を紹介カードにまとめている。 【発言・行動観察・紹介カード】
	10	○自分の選んだお気に入りの本で紹介カードを作る。 ・中心人物に伝えたいことと絵を紹介カードに書く。		○	○	読自分の選んだお気に入りの本で，中心人物に伝えたいことや絵を紹介カードにまとめている。 【発言・行動観察・紹介カード】
	11	○紹介カードを発表する。 ・作った紹介カードを友達と読み合い，交流する。			○	言友達の紹介カードの発表を聞いて，中心人物の変化について感想を書いている。 【発言・行動観察・紹介カード】

7 本時の指導 (1/11)

(1) 本時の目標

○紹介カードを作るというゴールに向かって，学習の見通しをもつことができる。

(2) 本時の評価規準

関紹介カードを作ることに興味をもち，中心人物が誰なのかを考えながら図書館の本を読もうとしている。

(3) 達成基準 (ルーブリック評価)

A	B	C
振り返りに，今日の学習で分かったことと，単元のゴールを意識したこれからやりたいことを書いている。	振り返りに，今日の学習で分かったこととやりたいことを書いている。	振り返りに，今日の学習で分かったことを書いている。

(4) 準備物

- ・達成基準を示したホワイトボード
- ・これまでに学習した物語の挿絵（登場人物を拡大したもの）
- ・「ニャーゴ」を基に作った紹介カードとその拡大版
- ・並行読書のために用意した「中心人物をとらえやすい」本とそのリスト
- ・短冊黒板

(5) 学習の展開

	主な学習活動[学習形態] ・予想される児童の反応	○指示・支援等 □評価規準 【評価方法】 ★支援を要する状況と判断される児童への手立て
つかむ ⑤	1 これまでに学習した物語を思い出す。[全体] ・心に残っている物語を発表する。 ・スイミー, 名前を見てちょうだい, お手紙, ニャーゴなど	○登場人物がわかる挿絵を掲示する。 ★物語が思い浮かばない場合は, 挿絵を1枚見せてヒントを出す。
考えを持つ ⑥	2 中心人物をとらえる。[全体] ① 「ニャーゴ」の話を思い出す。 ・ねこの気持ちの変化をつかむ。 ② 中心人物について知る。 ③ 既習の物語の中心人物について考える。 ・「スイミー」はスイミー ・「名前を見てちょうだい」はえっちゃん ・「お手紙」はがまくんとかえるくん	★「ニャーゴ」のあらすじを確認する。 ○最初の場面と最後の場面のねこの気持ちを比較することでつかませる。 ○「登場人物の中で気持ちの変化が一番詳しく書かれている人物を中心人物という」ことを確認する。 ○学習活動1で出てきた物語の中心人物は誰か考えさせる。 ★挿絵を手がかりに, どんな話だったか思い出させる。 ○物語によっては, 中心人物の気持ちが大きく変わっていないものもあるが, 児童から出た意見は肯定的に評価する。 ○中心人物の気持ちの変化を考えて読むと, 物語を読むことが楽しくなることを伝える。
学び合う ⑧	3 単元のゴールをつかむ。 ① 紹介カードを作ることを知り, 何を書くときよいか考える。 [個人→全体] ・題名, 作者, 絵, 感想, 中心人物, あらすじ, 名前など ② 学習のめあてを確認する。[全体]	★確認するとき, 教師モデルのカードを見る。 ○どんなことが書いてあれば読む人がわかりやすいか考えさせる。 ○中心人物と中心人物の気持ちの変化を書くことをおさえる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> これから読む物語は中心人物の気持ちが大きく変わっているかな? </div>	○たくさん本を教室に入れることで読書意欲を高め, 各自が読みたい本を選べるようにする。	
	4 ゴールで紹介カードにする本を見つけるために本を読む。[個人] ・中心人物の気持ちの変化を見つけようと本を読んでいる。	

振り返る⑦	<p>5 授業の振り返りをする。</p> <p style="text-align: center;">【個人→全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを書いて発表する。 	<p>★振り返りを書く時のポイント（分かったことやこれからやってみたいこと）を確認する。</p> <p>【関】紹介カードを作ることに興味をもち、中心人物が誰なのかを考えながら図書館の本を読もうとしている。</p> <p style="text-align: center;">【発言・行動観察・ノート】</p> <p>○中心人物を見つけるのが難しい児童には、次時「サーカスのライオン」を使って学習することで、見つけ方を練習することを伝える。</p> <p>○自分の書いた振り返りを「関・◎・○」を使って評価する。</p>
-------	--	--

(6) 評価の視点（はりまや橋小授業づくりスタンダードより）

- ① 目標に対して問題や活動内容は適切だったか
- ② **問題や活動のめあて、内容、見通しを明確につかませたか（本時重点目標）**
- ③ 求める力が身につく言語活動内容だったか
- ④ **目標と規準の達成に向かった指導と評価だったか（本時重点目標）**
- ⑤ めあてとつながる視点をもたせた振り返りだったか

☆学校図書館を活用した「読み」を鍛える拠点校事業

○児童の言語能力や情報活用能力を育成するために、図書館資料が活用されているか。

(7) 板書計画

ふりかえり

- ・ 中心人物について
- ・ サーカスのライオンを読みたい
- ・ 早くカードを作りたい

これから読む物語は中心人物の気持ちが大きくかわっているかな？

☆しようかいカードに書くこと


- ① 本の名前
- ② 作者
- ③ 絵
- ④ 心になったこと
- ⑤ 登場人物
- ⑥ 中心人物

だれが中心人物かな？

- ・ スイミー
- ・ えっちゃん
- ・ がまくんとかえるくん

中心人物

登場人物の中で気持ちのへん化が一番くわしく書かれている人物



食べることはやめておこう
うれしい。

やさしくしてもらって
うれしい。

食べてやる！

子ねずみたちを

ニヤーゴ